



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和5年7月18日
第10号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

磐梯町連合小学校修学旅行～仙台・松島方面～

7月12日（水）、13日（木）の両日、磐梯町連合小学校による6年生の修学旅行を実施しました。

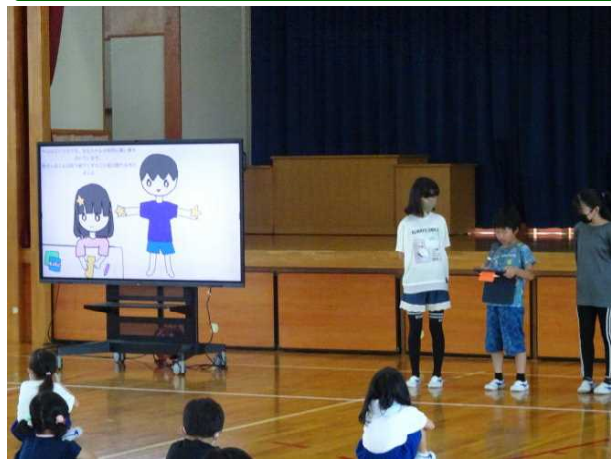
1日目は五大堂・瑞巖寺－松島班別活動－遊覧船－うみの杜水族館－夕食（牛タン）－仙台ロイヤルパークホテル泊。2日目は、仙台市科学館－震災遺構荒浜小学校－ベニーランドという行程でした。

両小学校の子どもたちのよさが存分に発揮されて、たいへん充実した修学旅行となりました。震災遺構荒浜小学校では涙を浮かべながら話を聞いたり、ベニーランドでははじけるような笑顔で楽しんだり。また、ホテルでは豪華な朝食バイキングに感謝してスタッフ一人一人に感謝の言葉を述べると、「こういうのは初めてです」と感激していただいたというシーンもありました。最高に楽しい2日間を過ごして、両小学校の子どもたちはとても仲よくなり、解散式後も別れを惜しんでいたのが印象的でした。

この2日間を通し、やはり、普段の学校生活でしっかりがんばっている子どもたちは、外に出てもそれが生かされるのだなと感じました。今度はこの充実した修学旅行で学んだことを学校生活に生かす番です。学校のリーダーとしてますます活躍してくれるものと、今からとても楽しみです。保護者の皆様のご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。



七夕集会



7月7日（金）は児童集会活動として七夕集会がありました。1週間ほど前から笹を搬入し、一人一人の願い事を書いた短冊を飾っていきました。

当日は、例年図書委員が担当して七夕にまつわる読み聞かせや本の紹介をしてきましたが、今年度の図書委員は、「何か工夫をして楽しい集会にしたい」という思いをもち、タブレットを使って紙芝居風にストーリーをまとめました。自作の画像を登場させたり、途中で全校児童が楽しめるようなクイズを入れたり、とても充実した内容で、見ていて感心しました。

児童会の活動や学級における係活動は、学校や学級をよりよいものにするために児童が創意工夫する場であり、こうした活動が充実しているのはとても頼もしいです。そして、こうして子どもたちに任せる場面の大切さを改めて感じました。

授業参観 ご来校ありがとうございました

7月7日（金）に、授業参観、PTA救命救急講座、全体会、学級懇談会を実施しました。たいへんな暑さの中となりましたが、保護者の皆様ご来校ありがとうございました。

4月と比べて、授業でのお子さんの様子はいかがだったでしょうか。今年度になってどの学級でも一段と授業でのがんばりが見られるようになってきたと感じており、この日も、とても意欲的な態度が随所で見られました。これからも教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

PTA救命救急講座にもたくさんのご参加をいただきました。今年度は胸骨圧迫やAEDの使い方をダミー人形を使って練習することができました。いざという時に恐れずに行動できるよう皆さんで確認できたことがよかったと思います。教養委員会の皆様、ご準備ありがとうございました。



絵画・写真展開催 絵画を寄贈していただきました



リトグラフを所蔵する中丸正夫様、写真愛好家の児山昭一様、美大生佐藤加歩様にご提案いただき、7月5日（水）～7日（金）に、二小で絵画・写真展を開いていただきました。保護者や地域の皆様にも多数ご来場いただきありがとうございました。

開催をして印象的だったのが、画家による絵画や写真家の作品に触れることに対して子どもたちが関心をもち、嬉しそうにしていたことです。思っていた以上の反応であり、この機会を提供してくださった皆さんもたいへん喜んでくださっていました。

閉会後に嬉しいサプライズがあり、中丸様が4点の絵画を寄贈してくださいました。中でも一番大きな作品は、この二小の地区の景色を描いたものだそうです。子どもたちは本物に触れることで「作品は作家の心の表現」ということを学びました。これから、そうした「本物」を毎日学校で目にすることができることは幸せです。中丸様ありがとうございました。

町内巡回福祉バスに対する考え方

7月7日（金）の懇談会全体会の中で、福祉バスについて話題にしました。原則として学校外の生活はご家庭の管轄ですので、子どもだけの福祉バス利用についても保護者さんのご判断（許可）と考えています。

まなびとき磐梯やふれあいセンタープールの利用について取り上げました。魅力ある公共施設なのですが、二小学区のお子さんの利用が少ないのが現状です。「夏休みにまなびとき磐梯やふれあいセンタープールに行ってみたいけど車で送ってくれる人がいない」などという時は、福祉バス利用を案の一つとしてお考えいただいよいかと思います。（ふれあいセンタープールの3年生以下の利用については、保護者同伴となります）

なお、居住地や生活経験によっては注意が必要なケースがあります。利用する場合は、お子さんとバス停の場所の確認や乗車前後の安全についてもシミュレーションし、安全について十分にお話しいただくようお願いいたします。